

当代随一の「桜の画家」

本金箔押し

シルク
スクリーン
(41版41色)

中島千波 古希記念版画作品

春を謳歌するように莊厳に咲き誇る南阿蘇の名桜。

今すぐのご注文で
3月中にお届け!



桜花図の第一人者 中島千波 略歴

現東京藝術大学名誉教授、日本美術家連盟常任理事。昭和20年、長野県生まれ。昭和44年、東京藝術大学日本画科卒業。同年、第五十四回院展初入選。昭和52年、第六十二回院展で奨励賞受賞。昭和54年、第五回山種美術館賞展優秀賞受賞。平成4年、小布施に「中島千波」館オープン。平成12年、東京藝術大学美術学部教授に就任(～同25年)。平成16年、深川不動尊天井画「大日如来蓮池図」完成。平成26年、高野山金剛峯寺奥殿桜の間障壁画襖12枚を完成。平成27年、本作「南阿蘇觀音桜」を制作。世界的な評価を獲得する偉才である。



障壁画のような豪華さ極まる桜花図

■豪華に輝く本金箔の上に、威風堂々と描かれた壯麗な桜。無数の花びらが巨大な幹を包み込み、眺めているだけで感動せすにはいられません。この度、紹介する「南阿蘇觀音桜」は、日本芸術界に「当代隨一の桜の画家」としてその名を刻む、中島千波画伯が手掛けた傑作。長年に渡り全国の桜を訪ね歩いた画伯が、心打たれた熊本の名桜を描き尽くした古希記念版画作品です。

■たくましく大地に根を下ろし、苔むした巨樹の迫力。空に枝を伸ばす堂々たる存在感は見事なほかりあります。对照的に満開に咲き誇る桜は、一枚一枚まで細やか。柔らかな質感まで伝えます。

■枚、淡い桃色で書き込まれ、風が吹けば舞いそうなほど臨場感を演出しました。

■描かれているのは、熊本県の南阿蘇を見降ろす草原の斜面に根付く樹齢およそ100年のヤマザクラ。古くから有数の放牧地として知られるこの付近には、觀音様が祀られていることから「觀音桜」という名が付けられました。一〇六六年の震災を乗り越え、春になると私たちを見守るように、見事なまでの花を咲かせてくれます。

中島千波
南阿蘇觀音桜
額縁175×59cm 第1/53巻

額裏に奥付つき

153/170

画面余白に貴重な作者直筆サイン、落款、エディションナンバー入り

領布価格(税込)

『南阿蘇觀音桜』月々16,885円×24回(計405,240円)一括352,000円

『額置スタンド』月々 5,978円×3回(計 17,934円)一括 17,600円

お申込み方法 ハガキ・FAX・ネットまたは電話で、お申し込みください。

お届けは受注から約2~3週間後。発送手数料は一点につき660円(税込)。一括払は代金引換・クレジットカード、もしくは現品到着後10日以内の振込(代引・振込手数料弊社負担)。分割払はクレジットカードもしくは口座からの自動引落とし、クレジットカードご利用時は各クレジットカード会社様の規定に準ず。現品到着後8日以内に瑕疵をさげり、送料自己負担で返品可。当社基準によりご希望のお支払い方法にござる場合はござります。

FAX 03-3762-7609 フリーダイヤル 0120-807-577

芸術と文化の殿堂 100周年

豪華な本金箔と淡い桜の色違いはこれら

郵便はがき
切手
①「南阿蘇觀音桜」
②〒住所
③氏名(フリガナ)
④生年月日
⑤電話番号
⑥支払方法
(一括/月々)
⑦●●係
東京書芸館
郵便番号と
社名(ふりがな)
でお願いします



別売「額置スタンド」

■技法:シルクスクリーン(41版41色)
■本紙:鳥の子和紙、本金箔押し
■額素材:木製、アクリル、吊り紐付き(額は金色)
■画寸(約):縦33.3×横40cm
■寸法(約):高さ43×横20×奥行27cm、重さ2kg(1組)
■奥付つき
■限定170部制作のうち今回領布は限定10

東京書芸館

〒140-8536 東京都品川区
南大井3-28-10

東京書芸館 検索